

第12回海外投融資委員会議事要旨

1. 日時

平成24年9月6日（木）14:00～16:00

2. 場所

国際協力機構本部6階特別会議室

3. 出席者

（海外投融資委員会委員）浦田委員長、赤羽委員、荒木委員、小野委員、柴田委員、長島委員、前田委員、横尾委員、及びJICA

4. 議事・報告

- ①海外投融資本格再開に向けたスケジュール
- ②海外投融資管理会計について
- ③パイロットアプローチレビュー結果
- ④海外投融資制度設計について

5. 議事の要旨

(1) 議事要旨

①海外投融資本格再開に向けたスケジュール

JICAよりパイロット案件であるベトナム国「ロンアン省環境配慮型工業団地関連事業」の進捗と海外投融資本格再開に向けたスケジュールを報告。

②海外投融資管理会計について

JICAより海外投融資管理会計について報告。

③パイロットアプローチレビュー結果

JICAよりパイロットアプローチレビュー結果と改善案について報告。主な質疑応答は以下の通り。

（委員）

- ・ 環境社会配慮について、現地調査は行っているのか。

（JICA）

- ・ 然り。なお、環境社会配慮ガイドラインは円借款と同じものを適用している。

(委員)

- ・ 事後評価については誰が行うのか。

(JICA)

- ・ 事後評価については、民間連携室とは別の評価部が担当している。

(委員)

- ・ 民間人材の登用も検討すべきではないか。

(JICA)

- ・ 人員体制について強化を検討中。

(委員)

- ・ 出融資を同時に行うことは利益相反の観点から望ましくないとのことだが、出融資同時実施こそが JICA が出融資を行う意義。出資者として積極的に経営に参画し、必要であれば役員も派遣、更に必要であれば融資を行って支えるという役割こそが求められている。

(JICA)

- ・ 出融資の同時実施の禁止が制度上定められているものではない。ただ、出資と融資を同時に行うことが利益相反の問題を生ずるのは事実であり、必要があれば慎重に同時実施を検討するもの。

④海外投融資制度設計について

JICA より海外投融資の制度設計について報告。主な質疑応答は以下の通り。

(委員)

- ・ 民間金融機関との協調融資は基本的に行わないとのことだが、海外投融資がより劣後する場合でも民間金融機関との協調融資は難しいのか。

(JICA)

- ・ 制度として本邦金融機関との協調融資はできないこととなっている。現地の銀行等との協調融資は可能。

(委員)

- ・ ODA 対象国が海外投融資の対象とあるが、円借款卒業国でも対象国となり得るのか。

(JICA)

- ・ 制度としては円借款卒業国も対象とされている。

以上